

第2章 まちづくりの基本方向

みなさまのご意見から、まちづくりの将来像を「住みつづけたい・帰って来たいまち」としました。

これを指針として、“住んでよかった”といえる、安心・安全でみんながふれあい、支え合うまちづくりを、町内会をはじめとして、まちづくり推進委員会に結集する各種団体と十分な連携を図りながら進めてまいります。

実施した活動の成果と課題を適切に把握するとともに、住民ニーズを的確にとらえ、必要に応じて見直しを図るなど、関係団体や行政とともにより実効性のある活動を展開します。

これまでの行政主導のまちづくりから、地域と行政がお互いの責任と役割を分担しながら地域の特色を生かした住民主導のまちづくりへの意識変革を図り、実践活動を通して根付かせます。

1 まちづくりの基本姿勢



2 まちづくり活動の展開方向

(1) 地域が活力に満ち、更なる絆づくり活動の展開

1) にぎわいの創出による 活力と絆づくり

(ア) 学区では、各種団体が多種多様な活動を展開しています。

(イ) これらの活動を積極的に支援し、地域住民が自分を輝かせ、人と人との交流やふれあいにより、絆を強めるまちづくりを推進します。

(ウ) 住民の誰もが、まちづくりに参画しやすい環境を整え、学区の将来をみんなが主役になってつくり上げていく取り組みを行います。

(2) みんなの心がふれあう、千田づくり活動の展開

1) 子どもたちを地域で守り 育てよう

子どもたちが安心して遊べ、大きくなったとき思い出に残るものを体験・経験できる事業を展開します。

2) 思いやりの心でつなぎ 支え合おう

高齢化が急速に進み、交通弱者や買物難民の増加など社会活動の維持が困難になり大きな課題になりつつあります。身近なコミュニティを再構築し、みんなが安心して暮らせる地域の創造を図ります。

3) 豊かな自然を愛し 快適な環境づくり

豊かな自然環境の保全に努め、後世に継ぐふるさとづくりに努めます。

4) 安心・安全で 快適なまちづくり

防犯防災の更なる活動を推進し、住民誰もが安心して暮らせるまちづくりを展開します。

以上、アンケート調査でいただいた意見を基に、まちづくり計画策定委員会で検討協議し、地域の抱えている課題などを挙げたものです。

これらの対応は、地域でするもの、学区でするもの、福山市行政と協働で実施するものなど様々です。

行政などに要望し実施する事項については、まちづくり推進委員会で協議し、優先度の高いものから逐次行政などに働き掛けていきます。

また、学区でできるものは積極的に取り組んでまいります。



ふれあい文化祭



三世代ふれあいまつり



バレーボール大会